



第24期（2009年3月期）
決算補足説明資料

2009年4月30日

サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

目次

CYBERNET

- ◆ 2009年3月期の決算の概況
- ◆ 中期経営計画の取り組みについて
- ◆ 2010年3月期の業績予想
- ◆ 参考資料(2009年3月期の個別業績情報)

略式記号について

09.3

2009年3月期(通期)

09.3/2Q

2009年3月期第2四半期(累計)

10.3E

2010年3月期(通期予想)



第24期（2009年3月期）
決算の概況

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

[連結] 業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	08.3		09.3				
	実績	売上比	実績	売上比	前年比	修正計画	計画比
売上高	20,942	100.0%	18,610	100.0%	88.9%	18,800	99.0%
売上総利益	8,473	40.5%	7,998	43.0%	94.4%	7,976	100.3%
営業利益	2,926	14.0%	2,617	14.1%	89.4%	2,390	109.5%
経常利益	3,085	14.7%	2,574	13.8%	83.4%	2,320	111.0%
当期純利益	1,810	8.6%	1,382	7.4%	76.3%	1,190	116.2%

※修正計画は、2009年1月29日に公表しました業績修正値です。

- ◆ 当社グループは、当第1四半期からスタートしました中期経営計画である「ものづくり支援におけるCAE及びITプロダクト販売の更なる成長とソリューションビジネスへの変革」に向けた事業活動により、顧客満足度向上と販路拡大に努めてまいりました。
- ◆ 当期の業績は、米国発の金融危機の影響から当社グループの顧客の予算執行時期の見直しや凍結の動きが顕著となり、売上高は前年比で11.1%と減収となりました。また、利益面でも、経費節減に努めたものの、経常利益は前年比では16.6%の減益となりました。

[連結] サービス費用

CYBERNET

(単位：百万円)

	08.3	09.3	増減	前年比	売上比	内容
労 務 費	1,420	1,401	△19	98.6%	7.5%	増員 2名 (サイバネット+6名、KGT△2名、プラメディア△2名)
外 注 制 作 費	128	243	114	188.5%	1.3%	原価計算による科目変更+75、 子会社開発外注費+41
通 信 費	23	24	1	105.8%	0.1%	
旅 費 交 通 費	109	102	△7	93.1%	0.5%	
備 品 消 耗 品 費	16	13	△3	81.4%	0.1%	
地 代 家 賃	246	247	1	100.4%	1.3%	
電 算 機 等 保 守 料	18	6	△12	31.8%	0.0%	epiplexサポート費用の減少△12
減 価 償 却 費	163	22	△141	13.5%	0.1%	商品原価への振替△96 2007年度epiplex一括償却分△48
業 務 委 託 費	47	73	25	153.3%	0.4%	
支 払 手 数 料	34	35	1	103.6%	0.2%	
そ の 他 の 経 費	40	43	2	106.9%	0.2%	
合 計	2,252	2,213	△38	98.3%	11.9%	

[連結] 販売費及び一般管理費

CYBERNET

(単位：百万円)

	08.3	09.3	増減	前年比	売上比	内容
人件費	2,543	2,548	4	100.2%	13.7%	増員+9名(サイバネット+9名)
通信費	180	172	△8	95.5%	0.9%	
旅費交通費	253	259	6	102.5%	1.4%	
備品消耗品費	214	88	△126	41.1%	0.5%	前年本社移転に伴う減少△110
募集採用費	79	39	△39	49.5%	0.2%	サイバネット△35、KGT△4
教育研修費	46	45	△0	98.4%	0.2%	
地代家賃	609	522	△86	85.8%	2.8%	前年本社移転に伴う重複家賃△144、 当期4,5月分前年比増加+60
電算機等保守料	58	62	4	107.8%	0.3%	
減価償却費	200	210	10	105.1%	1.1%	新規取得固定資産分+10
のれん償却	91	70	△20	77.2%	0.4%	プラメディア△21 (一括償却138による前年比減少)
広告宣伝費	483	474	△8	98.2%	2.6%	
業務委託費	326	365	39	112.1%	2.0%	サイバネット+11(中国子会社向けコンサル等) KGT+27(薬事・基幹システムコンサル等)
支払手数料	201	222	21	110.6%	1.2%	サイバネット+19(内部統制・事業調査コンサル)
その他の経費	258	297	39	115.3%	1.6%	KGT+16(大学等との研究開発費)
合計	5,546	5,381	△164	97.0%	28.9%	

為替変動及び原価率差異について（個別）

CYBERNET

◆ 当期の為替(当期レート 102.30円/USD)

- 前年実績計上レート差異 $\Delta 12.62$ 円/USD (114.92円/USD \Rightarrow 102.30円/USD)
- 予算レートとの差異 $\Delta 7.70$ 円/USD (110.00円/USD \Rightarrow 102.30円/USD)
- 調達レート 105.88円/USD (予算レート差異 $\Delta 4.12$ 円/USD)

◆ 売上総利益の増減要因

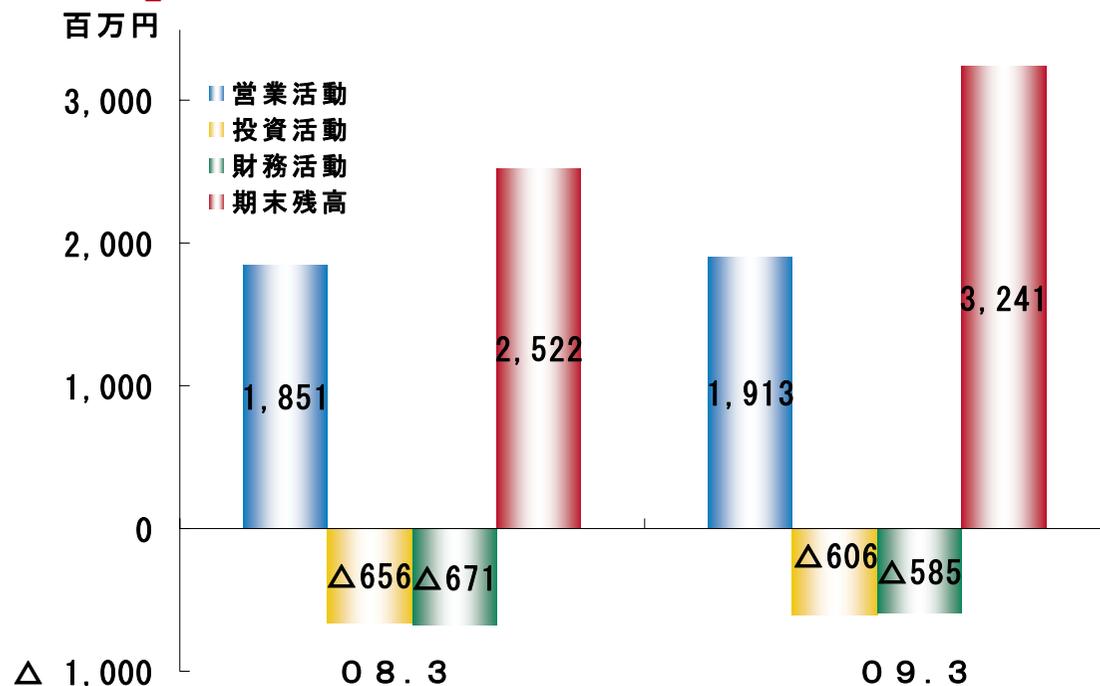
- 為替変動によるもの + 626百万円
- 原価率増減によるもの + 24百万円
- 売上高減少によるもの $\Delta 934$ 百万円
- サービス原価減少によるもの + 112百万円 (社員数2名増加)
- 合計 $\Delta 171$ 百万円

◆ 当期の為替差損益(期末レート 98.23円/USD)

- 外貨預金評価損益 $\Delta 46$ 百万円
- 買掛金評価損益 $\Delta 3$ 百万円
- 決済時損益 $\Delta 198$ 百万円
- 為替予約評価損益 + 93百万円
- 合計 $\Delta 155$ 百万円

[連結] キャッシュ・フロー

CYBERNET



キャッシュ・フローの状況

・営業活動によるキャッシュ・フロー

- 増加要因: 税金等調整前当期純利益の計上
減価償却費の計上
売上債権の減少
- 減少要因: 仕入債務の減少
棚卸資産の増加
法人税等の支払

・投資活動によるキャッシュ・フロー

- 無形固定資産(子会社のソフトウェア開発費等)
余資運用による支出
台湾子会社への出資金

・財務活動によるキャッシュ・フロー

- 配当金の支払

営業活動	
税金等調整前当期純利益	+ 2,564
減価償却費	+ 448
のれん償却額	+ 70
受取利息・配当金	△ 88
売上債権の増減額	+ 1,303
たな卸資産の増減額	△ 224
仕入債務の増減額	△ 852
未払費用の増減額	△ 133
賞与引当金の増減額	△ 23
役員賞与引当金の増減額	△ 63
役員退職慰労引当金の増減額	△ 44
利息・配当金の受取額	+ 85
法人税等の支払額	△ 1,042

投資活動	
有形固定資産取得による支出	△ 104
無形固定資産取得による支出	△ 254
有価証券の取得・償還による支出・収入	+ 697
投資有価証券取得・払戻による支出・収入	△ 375
関係会社株式の取得による支出(台湾JV子会社)	△ 83
親会社グループバンク制度による余資運用	△ 500

財務活動	
配当金の支払額	△ 624
ストックオプションの権利行使による収入	+ 38

[連結] ソリューション別損益の概況

CYBERNET

08.3

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
売上高	18,554	88.6%	100.0%	2,406	11.4%	100.0%	△18	20,942	100.0%
営業費用	13,732	—	74.0%	2,301	—	95.7%	1,981	18,015	86.0%
営業利益	4,822	—	26.0%	104	—	4.3%	△1,999	2,926	14.0%

09.3

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
売上高	16,836	90.5%	100.0%	1,776	9.5%	100.0%	△2	18,610	100.0%
営業費用	12,398	—	73.6%	1,953	—	110.0%	1,640	15,993	85.9%
営業利益	4,437	—	26.4%	△177	—	—	△1,642	2,617	14.1%

CAEソリューション(売上高対前年比 9.2%減少)

- (1) 制御系分野は、第3四半期から新規契約の伸び悩み、保守契約についても予算統制の動きがあり、前年割れ
- (2) 機械系分野は、第3四半期から公的機関を除き、予算統制の動きが本格化し、前年割れ
- (3) 光学系分野は、高機能デジタルカメラ向けの光学設計ソフトウェア、照明解析ソフトウェアともに横ばい
- (4) エレクトロニクス系分野は、既存商品の新規契約が低調に推移し、また保守契約の継続率も低下
- (5) 受託解析サービスは、需要が活発なエネルギー関連産業からの受注をはじめ、サービス収入は堅調に推移
- (6) 医用画像等可視化ソフトウェアは、自社開発製品が大手精密機器メーカーとの独占販売代理店契約締結により堅調

ITソリューション(売上高対前年比 26.2%減少)

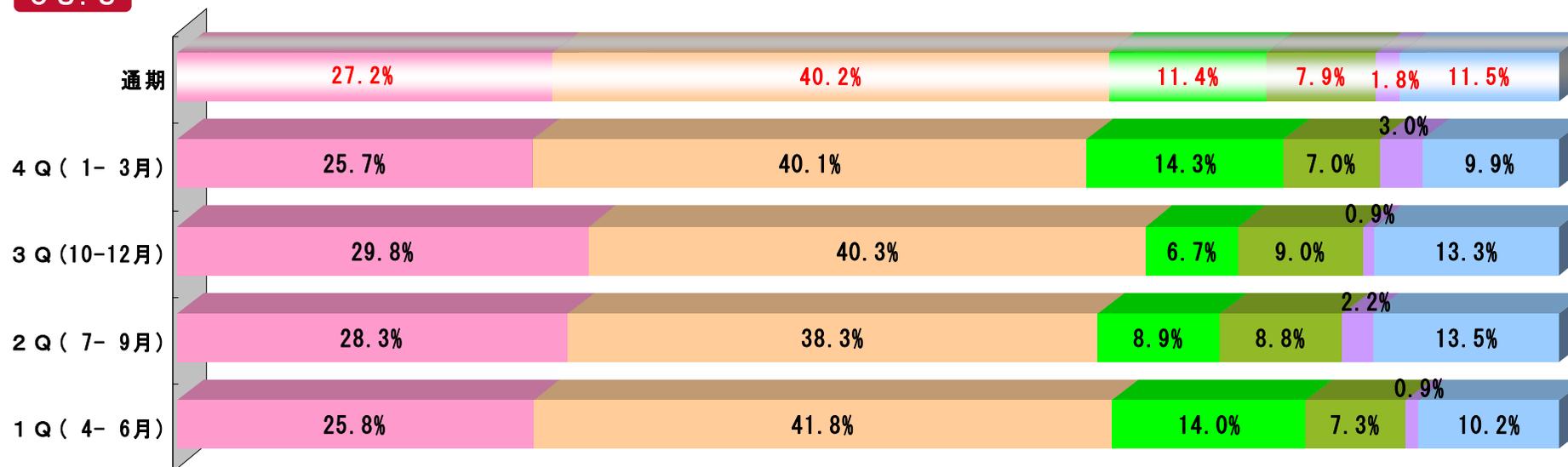
- (1) 業務パフォーマンス改善ソフトウェアは横ばいも、簡易機能版のソフトウェアは伸長
- (2) SaaSによるセキュリティサービスおよびハードディスク暗号化ソフトウェアは好調
- (3) 主力の端末エミュレータおよびIT資産管理ソフトウェアの販売は低調
- (4) グループ会社の内部統制リスク管理システムは急激な需要低下により、新規の販売が低調

[連結] 応用分野別売上高シェア

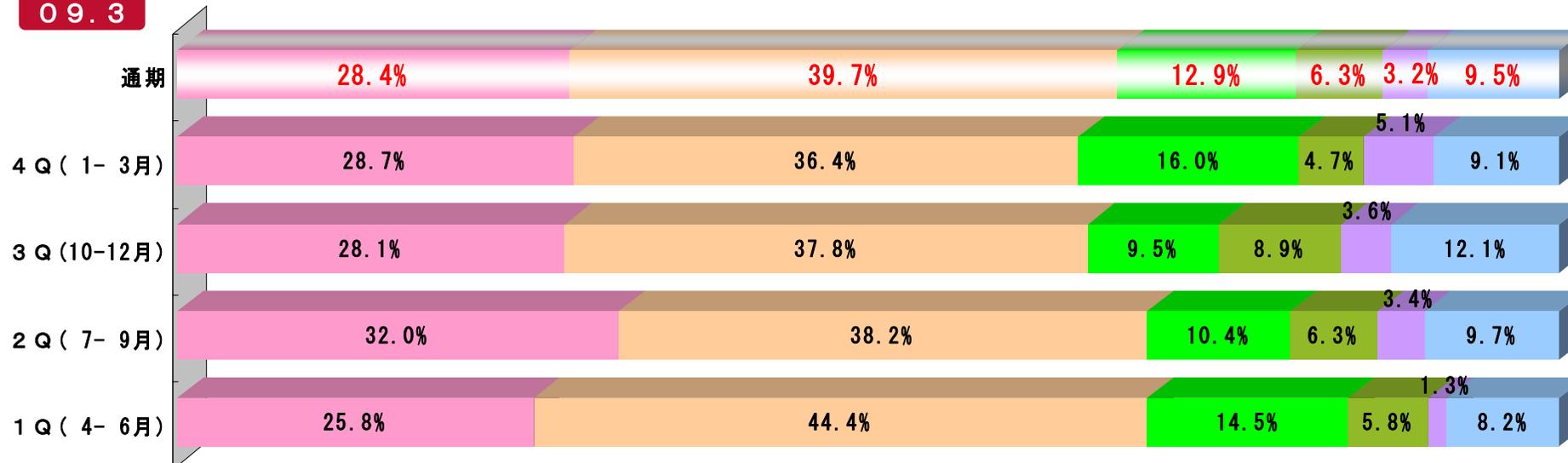
CYBERNET

08.3

■ 機械系 ■ 数値・制御・通信系 ■ 光学・照明系 ■ 回路設計系 ■ 新規及びその他CAE ■ ITソリューション



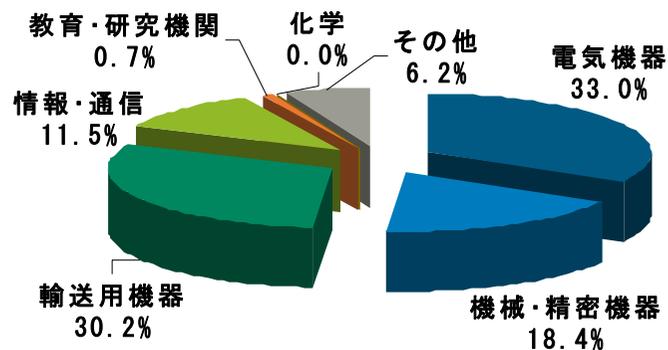
09.3



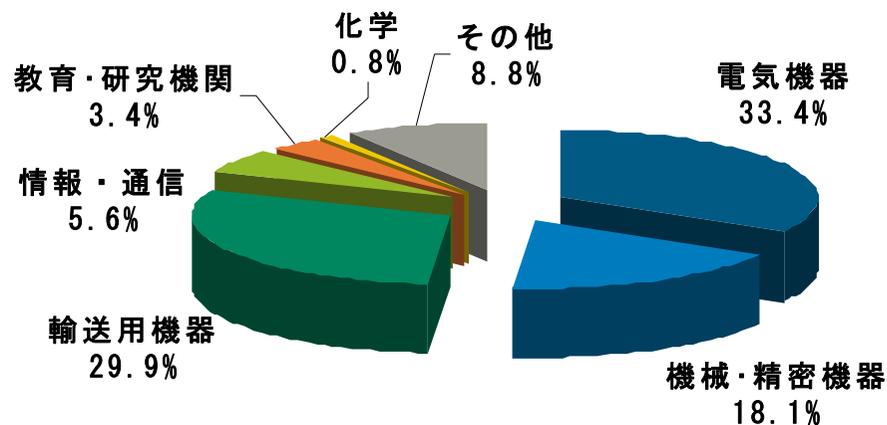
[連結] 業種別売上高シェア（上位50社）

CYBERNET

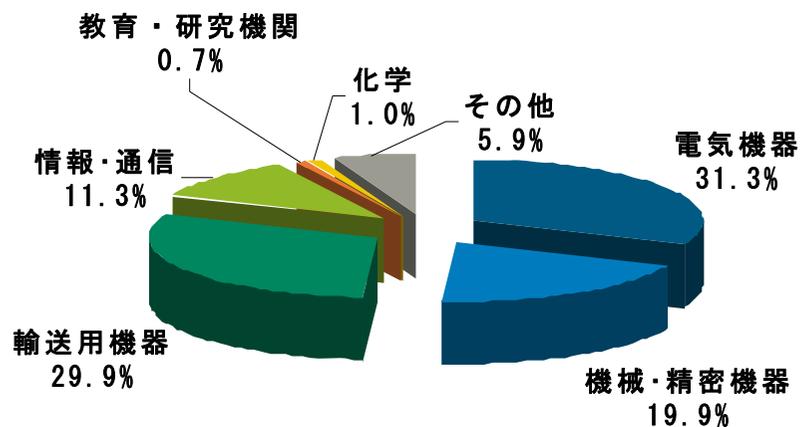
08.3/3Q(4-12月)



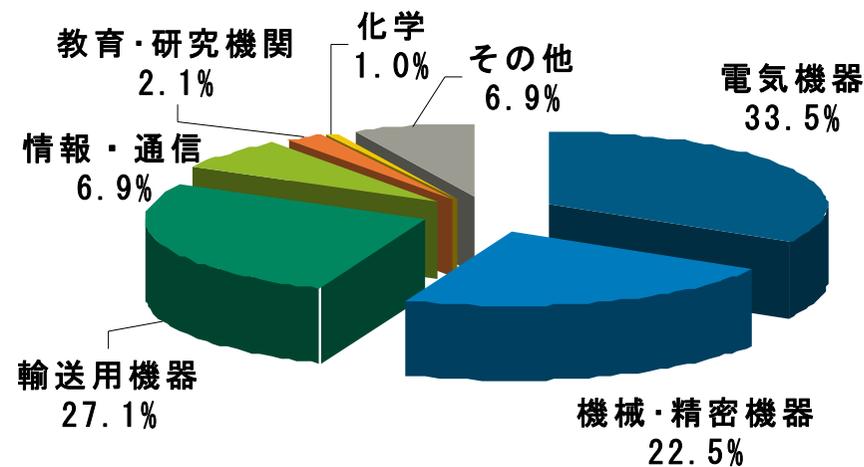
08.3(4-3月)



09.3/3Q(4-12月)



09.3(4-3月)

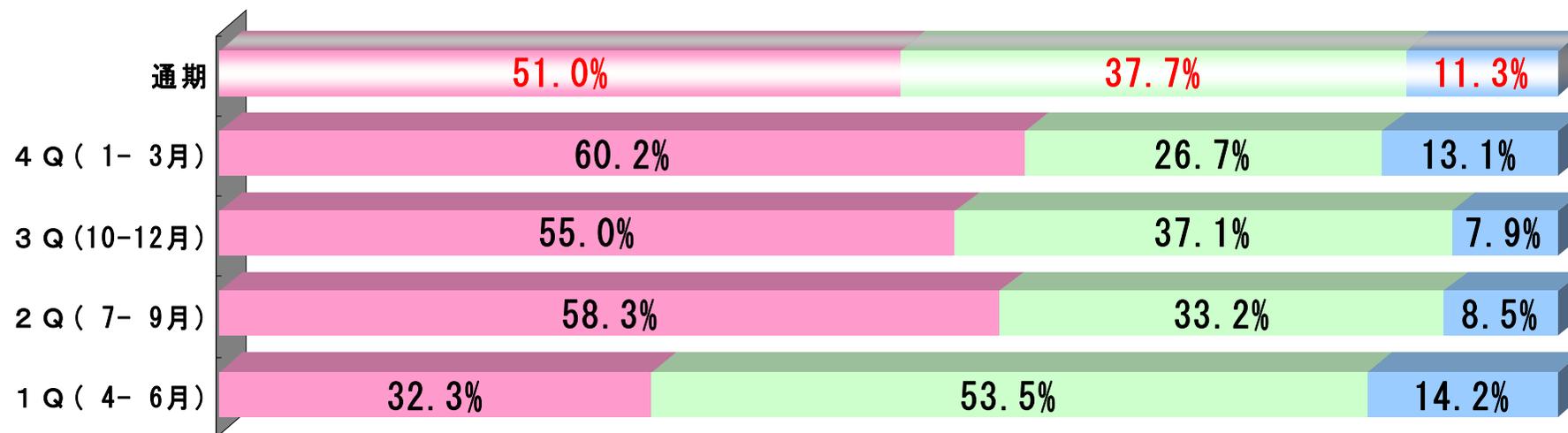


ライセンス契約別売上高シェア

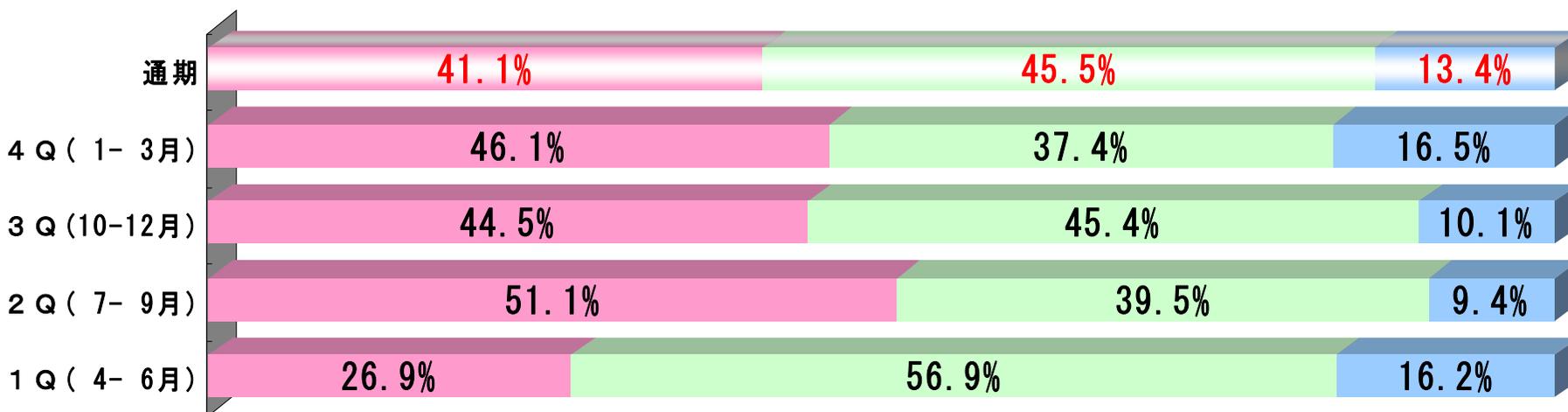
CYBERNET

08.3

■ 一括ライセンス契約 ■ 保守／更新契約 ■ レンタル契約



09.3

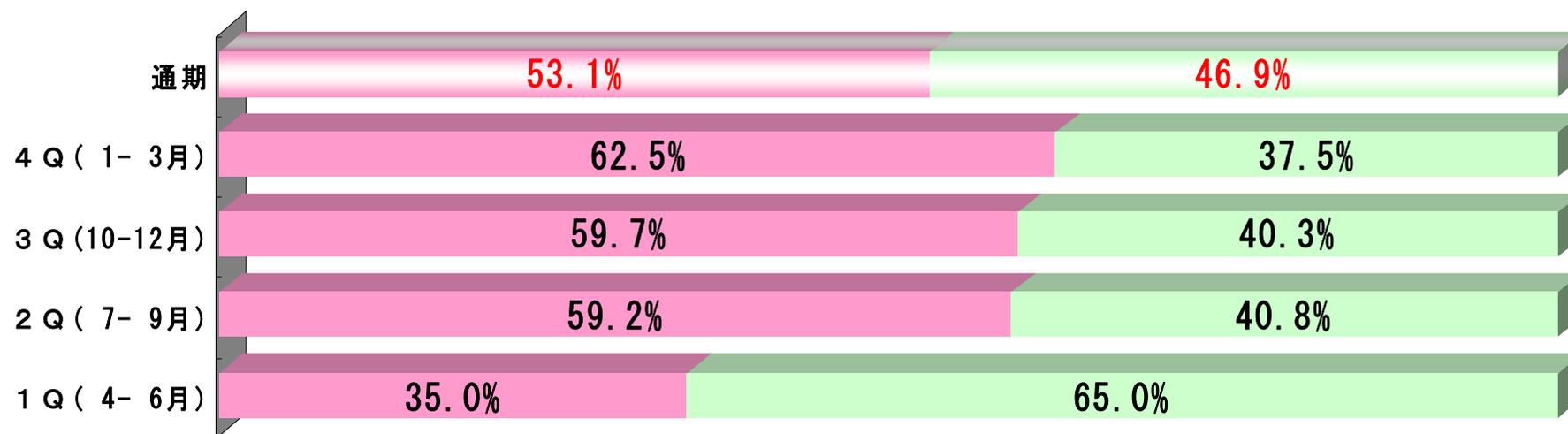


ライセンス契約別売上高シェア(2)

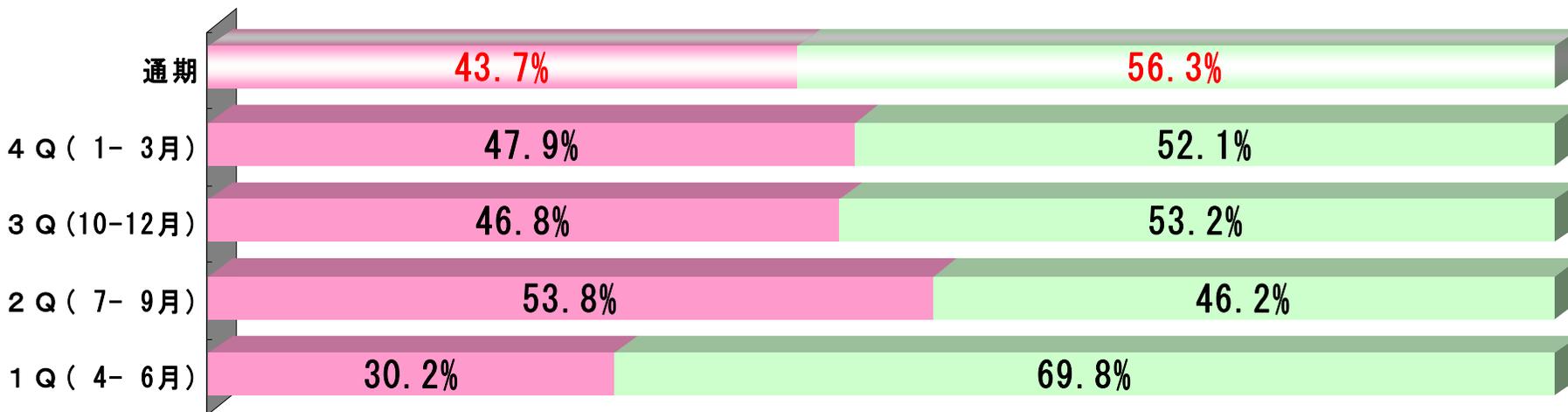
CYBERNET

08.3

■ 新規 ■ 更新



09.3



連結各社の決算業績

CYBERNET

単位：百万円

	売上高	前年比	営業利益	前年比	経常利益	前年比	当期純利益	前年比
サイバネット	16,765	89.9%	2,878	99.6%	2,823	93.3%	1,645	101.6%
修正計画値／修正計画比	17,000	98.6%	2,690	107.0%	2,610	108.2%	1,490	110.4%
ケイ・ジー・ティー	1,701	78.3%	△ 126	—	△ 112	—	△ 224	—
修正計画値／修正計画比	2,155	78.9%	22	—	35	—	△ 45	—
プラメディア	229	91.7%	△ 16	—	△ 14	—	△ 14	—
計画値／計画比	280	81.8%	3	—	3	—	△ 2	—

※プラメディアは12月期決算

※修正計画値は、2009年1月29日に公表しました業績修正値です。

(株)ケイ・ジー・ティー

- (1) 医用画像事業は、多様な顧客需要に対応した自社開発製品や受託開発が堅調。
- (2) 自社製品の新しいサービスは景気悪化の影響もあり低迷。
- (3) 内部統制リスク管理システムは急激な需要低下により、第2四半期において時価評価を行い、約102百万円を特別損失に計上。

(株)プラメディア

- (1) 自動車関連を中心としたプラスチック解析の需要拡大に備え、自社開発ソフトウェアの大幅な機能アップを目的とし、2007年度より3ヵ年計画で開発に注力。
- (2) ブロー・押出成形分野において、競合との差別化をはかり、第1四半期は新規ライセンス増となったが、景気悪化の影響もあり低迷。当社との協業販売体制を強化。

2009年3月期の中間配当実績と期末配当予想

CYBERNET

単位：円

	08.3	09.3		
	年間(実績)	第2四半期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当額	1,800	900	500	1,400
1株当たり当期純利益	5,723.45	2,768.94	—	4,412.20

当期末配当は、2009年3月24日の期末配当修正予想のとおり変更ありません。

- (1) 年間の配当性向 31.7%
- (2) 期末配当金の取締役会決議 2009年5月14日(木)
- (3) 期末配当金の支払開始予定日 2009年6月3日(水) (※効力発生予定日)

中期経営計画の取り組みについて

*Phoenix*21
(フェニックス21)

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

当社グループは、2008年4月に発表いたしました中期経営計画「Phoenix 21」にもとづき事業活動を推進しておりましたが、昨年秋以降のいわゆるリーマンショックを端緒とする世界的な経済環境悪化の影響を受け、当期の業績が計画に対し大幅に未達となりました。また、未だ景気回復の見通しが立っておらず、その影響が長期化、深刻化すると考えられ、2010年3月期についても当初計画値を下回る見込みとなったことから、中期経営計画「Phoenix 21」の数値目標を一旦取り下げることといたします。2010年3月期については、中期経営計画「Phoenix 21」の基本方針である、**「安定かつ継続的成長の実現を目指した強固な事業基盤の確立」**に重点をおいた諸施策を優先して実行することといたします。

基本方針

安定かつ継続的成長の実現を目指した強固な事業基盤の確立

強固な事業基盤確立に向けた取組み

CYBERNET

代理店ビジネスリスクの低減

- ・ 既存の開発元との関係強化（複数年契約、資本提携等）
- ・ 代理店ビジネス比率の見直し（サービス、自社製品比率向上）

経営効率の向上

- ・ グループカ発揮／利益重視経営の実践（富士ソフトグループカの活用）
- ・ 社内経営組織統合（組織統合による経営効率化）
- ・ コスト抑制のための抜本的な取組み（全社的費用削減活動の推進）

次世代主力商品の早期立上げ

- ・ 年商 5 億円規模の商品の発掘・育成

2010年3月期基本方針

利益確保を最優先

既存事業の強化

- ・ 付加価値提案活動の推進（マルチプロダクトソリューション推進展開）
- ・ サイバネットグループのトータルソリューション力強化
- ・ 富士ソフトグループとのシナジー効果（組込制御システム、ITソリューション事業）
- ・ アジアビジネスの強化（商圏の拡大、開発元との関係強化）

新規事業の拡大

- ・ モデルベースデザインビジネスへの注力
- ・ エンジニアリングサービス強化（MATLAB関連、プリント基板関連、機械系新分野）



2010年3月期の業績予想

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

2010年3月期の業績予想

CYBERNET

[連 結]

(単位：百万円)

	09.3/2Q	09.3	10.3/2Q	売上比	前年 同期比	10.3E	売上比	前年比
売上高	10,509	18,610	9,162	100.0%	87.2%	15,000	100.0%	80.6%
売上総利益	4,453	7,998	4,344	47.4%	97.5%	6,702	44.7%	83.8%
営業利益	1,573	2,617	1,673	18.3%	106.4%	1,600	10.7%	61.1%
経常利益	1,627	2,574	1,673	18.3%	102.8%	1,600	10.7%	62.2%
当期純利益	866	1,382	1,355	14.8%	156.4%	1,383	9.2%	100.0%

[個 別]

(単位：百万円)

	09.3/2Q	09.3	10.3/2Q	売上比	前年 同期比	10.3E	売上比	前年比
売上高	9,648	16,765	8,385	100.0%	86.9%	13,127	100.0%	78.3%
売上総利益	4,229	7,476	4,061	48.4%	96.0%	5,946	45.3%	79.5%
営業利益	1,774	2,878	1,779	21.2%	100.3%	1,612	12.3%	56.0%
経常利益	1,818	2,823	1,782	21.3%	98.0%	1,617	12.3%	57.3%
当期純利益	1,060	1,645	1,466	17.5%	138.2%	1,403	10.7%	85.3%

業績予想について

- (1) 2010年3月期の業績予想における為替レートは95.0円/ドルです。
- (2) 2010年3月期の為替ヘッジ状況：想定年間送金額の約50%相当分を平均約93円/ドルで予約済みです。
- (3) 固定費圧縮に取り組めます。

2010年3月期の配当予想

CYBERNET

単位：円

	09.3	10.3E		
	年間(実績)	第2四半期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当額	1,400	700	700	1,400
1株当たり当期純利益	4,412.20	4,327.09	—	4,414.13

当社は、年間配当性向30%を基本として、業績に連動した配当を実施しております。

2010年3月期の配当予想は

- (1) 年間配当予想額は、2009年3月期と同額を予定しております。
- (2) 年間配当予想の配当性向は、31.7%です。



参考資料 (2009年3月期の個別業績情報)

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

会社概況

CYBERNET

- ◆ 名 称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部 4312)
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本 社 : 東京都千代田区神田練塀町3
- ◆ 支 社 : 西日本支社 (大阪)、中部支社 (名古屋)
- ◆ 設 立 : 1985年4月17日
- ◆ 資 本 金 : 995百万円
- ◆ 社 員 数 : 2009年3月31日現在
連結 461名
個別 372名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションサービスの提供、
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子 会 社 : 連結 (株)ケイ・ジー・ティー
(株)プラメディア
非連結 西希安工程模擬軟件 (上海) 有限公司 (略称: CCA)
莎益博設計系統商貿 (上海) 有限公司 (略称: CCS)
思渤科技股份 (台湾) 有限公司 (略称: CST)

CAEとは

Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験すること。

[個別] 2009年3月期 業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	08.3		09.3				
	実績	売上比	実績	売上比	前年比	修正計画	計画比
売上高	18,652	100.0%	16,765	100.0%	89.9%	17,000	98.6%
売上総利益	7,647	41.0%	7,476	44.6%	97.8%	7,478	100.0%
営業利益	2,890	15.5%	2,878	17.2%	99.6%	2,690	107.0%
経常利益	3,025	16.2%	2,823	16.8%	93.3%	2,610	108.2%
当期純利益	1,619	8.7%	1,645	9.8%	101.6%	1,490	110.4%

修正計画は、2009年1月29日に公表しました業績修正値です。

[個別] 2009年3月期 サービス費用

CYBERNET

(単位：百万円)

	08.3	09.3	増減	前年比	売上比
労 務 費	1,037	1,053	15	101.5%	6.3%
外 注 制 作 費	32	97	64	296.6%	0.6%
通 信 費	20	22	1	108.7%	0.1%
旅 費 交 通 費	84	81	△3	95.5%	0.5%
備 品 消 耗 品 費	12	8	△4	65.0%	0.1%
地 代 家 賃	205	207	1	100.9%	1.2%
電 算 機 等 保 守 料	17	4	△13	26.0%	0.0%
減 価 償 却 費	80	19	△60	24.7%	0.1%
業 務 委 託 費	61	71	9	114.6%	0.4%
支 払 手 数 料	27	34	6	122.3%	0.2%
そ の 他 の 経 費	31	33	2	106.6%	0.2%
合 計	1,614	1,633	19	101.2%	9.7%

[個別] 2009年3月期 販売費及び一般管理費

CYBERNET

(単位：百万円)

	08.3	09.3	増減	前年比	売上比
人件費	2,114	2,135	20	101.0%	12.7%
通信費	165	158	△6	96.3%	0.9%
旅費交通費	217	225	7	103.5%	1.3%
備品消耗品費	200	74	△126	37.1%	0.4%
募集採用費	74	39	△35	52.6%	0.2%
教育研修費	41	44	3	107.4%	0.3%
地代家賃	567	480	△87	84.6%	2.9%
電算機等保守料	53	56	3	105.9%	0.3%
減価償却費	195	205	9	104.8%	1.2%
のれん償却	47	47	△0	100.0%	0.3%
広告宣伝費	436	440	4	101.0%	2.6%
業務委託費	298	309	10	103.7%	1.8%
支払手数料	191	210	18	109.7%	1.3%
その他の経費	152	169	17	111.4%	1.0%
合計	4,757	4,597	△159	96.6%	27.4%

■ 広報・IR室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3
T E L	03-5297-3066
F A X	03-5297-3609
E-M A I L	irquery@cybernet.co.jp
W e b サ イ ト	http://www.cybernet.co.jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET